

# みっくら お知らせ版

令和5年1月15日発行 第377号

発行：大瀬川活性化会議

事務局：花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2

(大瀬川振興センター内) 電話/FAX 45-6472



## 令和5年 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

地区民の皆様には、令和5年の新年を穏やかに健やかに迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年の大瀬川活性化会議では、事業開催に当たり新型コロナ対策を検討しながら、事業を中止することなく開催することができました。多くの方の参加とはいきませんでした。事業が開催できたことと地区民皆様や役員のご協力に感謝申し上げます。

新型コロナが問題となって約3年が経過し本当に疲れました。行動制限が無くなったことから、今や多くの方の行動様式が変わりましたが、しかしパンデミックは間違いなく終わっていません。まだまだ多くの方が感染しています。警戒を怠らずマスク着用や手指消毒などよろしくをお願いします。

大瀬川活性化会議では、「おーい！集まろう！創ろう！みんなの大瀬川」を合言葉に地域の絆が深められ、生きがいのある地域づくりを目指して参りますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

大瀬川活性化会議 会長 熊谷秀夫



## アヤ、もちゃもちゃズ！ 新春の集いで爆笑脳トレ

新春の1月7日（土）大瀬川振興センターでは、脳トレ漫談師福々亭ナミ子さんを招いて「新春の集い」が開かれました。地域づくり推進委員会（畠山勝敏委員長）の企画によるもので、会場にはおよそ50人が集まり、表情豊かなナミ子さんの指導のもと、脳トレ体操に挑戦しました。中でも、右手で2拍子左手で3拍子を同時に行なう体操では、思考が行方不明になる現象が続発し会場は笑いに包まれました。「失敗しても笑い飛ばす」ことが元気の秘訣だそう。なんとか明るい気持ちで一年を送りたいものです。



## 金の招き猫を獲得！！

福々亭ナミ子さんと言えば「招き猫」。講演会の最後には、会場とナミ子さんとのジャンケン大会が開催され、厳しい戦いを勝ち上がった板垣幸夫さんが、「金の招き猫」をゲットしました





### 門松で新年を飾る (大瀬川振興センター)

昨年暮れの12月26日、板垣幸寿さんのご厚意により、手作りの門松が振興センターの玄関に飾られました。板垣さんはお父さんの好一さんが大瀬川公民館に門松の寄贈を始めてから、現在幸寿さんが引き継いで毎年振興センターに飾っていただいています。

第8波の感染拡大が続き未だ収束の見えない新型コロナや、ウクライナとロシアの行方など、気がかりなことがいろいろ取り巻く中で、それでも希望を抱いて新しい年を迎えるのだというメッセージが門松から伝わってくるようでした。

### 誰もが支援者になれる支えあいの仕組み を学ぶ

#### —地域福祉推進委員会—



○地域福祉推進委員会（高橋厚子委員長）では、事業が制約される中で、地域福祉に触れる学びの場を作りたいとの目的から12月14日、花巻市長寿福祉課の出前講座を活用し、委員を対象とした研修会を開催しました。

写真は「助け合い体験ゲーム」。10年後の自分を想像して、困りごとカードの中から2枚を選び、グループに支援を呼び掛け、引き受け者を募るといったもの。

「地域の支え合い」とはどんなことなのか、誰もが自分ごと、或いはいつかは自分ごとを、今から想像することが第一歩であると学びました。

### 【花巻市社会福祉協議会石鳥谷支部からのお知らせ】

#### (石鳥谷地域福祉バザー開催のお礼)

令和4年11月12日(土)に開催いたしました石鳥谷地域福祉バザーに、多くの皆さまのご寄付を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまをもちまして、晴天にも恵まれ、多くの方にご来場をいただき、盛況のうちに終えることができました。これもひとえに、石鳥谷地域の皆さまのご支援のおかげと、深く感謝いたしております。

地域住民の皆さまから提供されたバザー用品の販売益金は、交流やつながりを目的とする石鳥谷地域内の様々な地域福祉活動の財源に充てられます。今後とも、何卒皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

花巻市社会福祉協議会石鳥谷支部  
支部長 伊藤 浩司



### オセロ大会開催

新春の集いの1月7日、改善センターではオレカフェ（地域づくりサポート事業）有志が企画したオセロ大会が行なわれました。

周知期間が短かったため、参加者は少なかったのです

が、冬休み中の子供たちが畳の部屋でミカンを傍らにゲームをする風景は、どこか懐かしい気がしました。こたつに入って、ミカンを食べながらトランプ遊びなんて、今はしないのでしょうか・・・

